

山行報告書

日時	2023 年10月6日(金)出発～10月9日(日)朝帰着		天候	山中:初日晴れ、2日目:小雨
山名	石鎚山～瓶ヶ森縦走			
CL	S行	参加者	SL:HIRO、メンバー:ナン、NJ川、GL友人(Y城、S田、Y口、K口) 合計8名	
(コース)	<p>・移動日:10/6(金)天神日銀前19:00集合→フェリー小倉港21:55→松山港5:00 ・登山初日:10/7(土)松山港→石鎚山口ブフェー乗り場7:00→山頂成就駅8:30→二の鎖元小屋→石鎚山山頂11:45→昼食～12:20 →天狗岳12:40→南尖峰13:10→東麓ルート經由(現在通行禁止看板あり)→国民宿舎石鎚15:50 ・登山二日目:計画では瓶ヶ森までの縦走後、西之川へ下山予定でしたが、雨予報によりショートカットで下山しました。 10/8(日)国民宿舎石鎚→7:20→西之川登山口へ下山(エスケープ)10:35 下山後松山市内へ移動後昼食、松山城観光、道後温泉本館にて入浴→松山港近所に移動後、居酒屋で打ち上げ→松山港21:55→小倉5:00 10/9(月)祝日 小倉5:00到着後 天神日銀前へ 解散7:00</p> <p>*車はSL号1台に乗り</p>			
(コメント)	<p>(S行)★3年前ほどに行く予定でした石鎚山にやっと行くことが出来ました。当時はコロナ禍に入ったばかりで断念し今回改めて紅葉シーズンに企画し、天気予報は直前まで不安定でしたが、初日は計画通り、メインルートの鎖場經由で石鎚山へ登頂することが出来ました。当初の計画では天狗岳ピストンで国民宿舎石鎚まで行く予定でしたが、SLさんのその先も行ったことがあるとのことで、予定を変更してそのまま尾根を進みました。</p> <p>ところが、この東麓ルートというのがなかなかの曲者で、わずかな踏み跡があるものの、整備はされていなく笹藪の中を注意深く進む必要がありました。また、岩場の通過も時間がかかり難儀しました。幸運も重なりメンバー無事全員通過出来ましたが、今後行かれる方は注意が必要です。</p> <p>二日目は雨模様でしたので皆で話し合い、瓶ヶ森までの縦走は断念し予定を変更し下山しました。下山後は松山市内を観光し、道後温泉本館にて入浴、松山港近くの居酒屋で打ち上げて楽しい山行を締めくることが出来ました。SLのHIROさんはじめ、参加された方に感謝するとともに達成感一杯の四国遠征となりました。</p> <p>有難うございました。</p>			
	【HIRO】 <p>石鎚山の登山は約10年ぶりでした。以前は冬をメインに年に2回は訪れていましたが、ここ最近はずかしく訪れていたところにリーダーよりお誘いがあり、喜んで参加させてもらいました。リーダーには天狗から土小屋間も特に危険な場所は無いと、あいまいな記憶を辿って伝えていましたが、天狗から土小屋に至る東麓ルートは廃道になっていて、標識、テープ、階段、鎖、ロープ類が全て取り除かれてかなりグレードが上がっていました。やはり、10年以上前の記憶や情報はあてになりませんでした。反省しています。みなさんに怖い思いをさせて申し訳なかったです。最新の情報を入手して計画を立てましょ。ただ、困難なルートを踏破した喜びと充実感は大きかったようで、2日目も雨が縦走を中止して下山となりましたが、満足そうな表情も見られました。仕事上のプロジェクトの様に、きめ細かな計画と連絡をしてくれたリーダーと、遠くまで同行してくれたメンバーに感謝しています。</p>			
	【ナン】 <p>★太さが尋常じゃない鎖が、尾根の岩斜面に長さ60～70mも掛かる石鎚山。あれをむんずとつかんで登り上がる緊張箇所を4つともクリアできるんだろうか、修験の山だし…。出発時の関心はそこでしたが、平行に2本垂れている鎖に両手両足が置きやすく、アシレチック感覚で満喫しました。昼時に着いた山頂は、100人超の登山者であふれ返っていてげんなり。それでも、山頂からすぐ先に映る天狗岩の姿に心が動きました。ジョーズの巨大背びれが天空にそびえるかのように、「カッコいい!」の言葉しかありません。実は、天狗岩から土小屋(地名)までの東麓ルートの下りが、この山行最大のインパクトタイムでしたが、紙幅も尽きたのでこのへんで。</p> <p>アゼリア入会2年間で一番面白い山旅でした。リーダー一行さん、サブリーダー長尾さんに、感謝感謝です。</p>			
	【NJ川】 <p>九州に来るまでは四国で登山ができるなんて考えられませんが、今年で2つの百名山、しかも紅葉期の石鎚山をGetできたことをとても嬉しく思います。山頂からは天狗經由し東麓ルートで下りましたが、久しぶりに手に汗の緊張感続くバリエーションルートで、夢にまで出てくるほどでした。往復フェリーも、国民宿舎も、まるまる大充実の山行でした。ありがとうございました。</p>			
	【石鎚山頂から天狗岳方面】			【三の鎖あたり】
				
南尖峰から東麓に入るあたりの岩場:下りましたが危険です。		東麓上:右側は切れていて足元は笹藪です:ここも危険です。		
				
		国民宿舎石鎚:夕食	道後温泉本館:裏手から～2024年7月ごろ改修完了だそうです。	
費用概算	(交通費/人)小倉⇄松山 往復フェリーにて 宿泊:国民宿舎石鎚¥10,000(一泊2食) (その他/人)合計¥38,300/人			